

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 益田清風高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月17日(火) 13:10~15:10
- 3 開催場所 益田清風高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	中切 幹男	元萩原南中学校長
委員	皆越 眞佐代	NPO飛騨小坂200滝
	向野 優子	NPOみらいろ理事長
	河合 正博	下呂市観光商工部長
	森本 翔太郎	馬瀬建設株式会社 専務取締役
	朽本 達治	朽本農園
	山下 久美子	下呂看護専門学校長
	滝 景子	水明館 若女将
	長尾 伴文	ぎふ夢教育応援隊
	熊崎 秀樹	育友会長
	学校側	佐藤 尚史
	小田 雅人	教頭
	可知 嘉文	教務主任
	打保 圭史	生徒指導主事
	上田 界堂	進路指導主事
	塚中 一成	保健安全部長
	今井 誠	特別活動部長

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画について

全委員の承認を受けた。

#### (2) 意見交流

意見1: これまで新型コロナウイルス感染症の影響で学校らしい行事が実施されていないので、今年度は感染予防対策をとりながらぜひ文化祭を開催してほしい。学校行事は生徒にとってよい思い出となり、教育的効果が高いと考える。

意見2: JRや路線バスなど生徒にとって交通アクセスに不便なところはないか。学校専用バスやタクシーなどで柔軟な対応ができると入学希望者が増えるのではないか。  
⇒部活動終了後、JRで下呂方面に帰る生徒に適時の運行がなく、遅い時間まで学校に残って過ごす現状がある。

意見3: 今の社会は子育てがしにくいと感じる。観光業の面から見たときに、地域を活性化する人材の育成を目指した学校運営は望ましい。このことを生徒が理解して積極的に活動していけるとよい。

- 意見4：下呂看護専門学校では、地域の方とのかかわりを大切にするために、下呂市のケーブルテレビに学生が定期的に出演するなど、外部にPRするような取組を行っている。コロナ禍において、再開した活動などをPRする方法をぜひ検討してほしい。
- 意見5：地元で就職する生徒の割合がまだ少ないのではないかと。生徒自らが選んで地元で就職しているのか、あるいは目的夢があって他地域に就職しているのか、生徒の意識が知りたい。高山市内にある高校の方が地元への就職率が高いと聞いた。現状を知ることによって、より適切なサポートを考えることができる。下呂市外から通学する生徒が「なぜ益田清風高校を選んだか」を聞けば、本校の魅力や強みがわかるのではないかと。また、弱みも見えてくるのではないかと。
- ⇒地元企業の実力を紹介するなどの手立てで就職をサポートし、地元に残って「祭り」を伝承したり、消防団員として地域に貢献したりする人材を育てるのも本校の役割と考える。他地区から入学してくる生徒については、兄弟からの影響や、入学を機に環境を変えたいといった理由が多い印象はあるが、今後細かく分析していきたい。
- 意見6：教育環境が大きく変わってきていることはよいことである。ICTのCは「コミュニケーション」であり、コミュニケーションのツールとして、効果的に活用できるとよいのではないかと。
- 意見7：「地元就職」の「地元」を下呂市に限定した場合、さらに割合は少ないのではないかと。下呂市の有効求人倍率は高いが生徒の応募が少なく、もっと地元企業の宣伝をしてほしい。また生徒は、卒業生が就職した企業に就職する傾向があるので、よいつながりや流れを作っていけるとよい。
- 意見8：成年年齢が18歳になったことで、社会人としての責任感も育成してほしい。
- 意見9：コミュニケーションツールとしてICT機器を活用してほしい。一方向ではなく双方向で活用し、発言できるような生徒を育ててほしい。「下呂市には益田清風しかないから行く」のではなく、本校の魅力から前向きに学校を選んでもらえるように、こまめな情報発信を心がけてほしい。
- 意見10：実際に現場へ行って体験するような教育活動を大切にしてほしい。大人から教わるだけでなく、体験を通して主体的に学ぶ力が育つとよい。また、それらの活動や学んだことなどの情報を外部へ発信していくとよい学校のPRになるのではないかと。
- 意見11：地域で行われる小中学校の廃品回収の活動にぜひ高校も参加しながら、小中高の連携を育みつつ、地域で学んでほしい。
- 意見12：中学校でもタブレット端末が積極的に活用されており、今はいかに「自分で調べるきっかけを作れるか」が大切になってきている。小中学校での学びを生かしながら、高校生活における生徒の気づきを大切に指導をしていけるとよい。本校で先輩が楽しそうに活動している姿が中学生に伝わるとよい。PRや宣伝の効果は大きいので、積極的に検討し発信してほしい。

## 6 会議のまとめ

第1回の学校運営協議会では、今年度の本校の学校運営基本方針について説明を行い、全委員より承認が得られた。本協議会における、授業等でのICT機器の有効活用と、本校の教育活動や魅力の積極的な情報発信に関する提言を踏まえ、今年度の学校運営に生かしていきたい。